

各位

会 社 名 株式会社セルシード
代表者氏名 代表取締役社長 橋本 せつ子
(コード番号：7776)
問 合 せ 先 最高財務責任者兼管理部門長 小野寺 純
電 話 番 号 03-6380-7490

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正内容

平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	100	△1,200	△1,150	△1,150	△129.44 円
今回修正予想 (B)	100	△1,510	△1,500	△1,500	△162.79 円
増減額 (B-A)	0	△310	△350	△350	—
増減率 (%)	0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	193	△568	△531	△535	△61.56 円

2. 業績予想修正の理由

<売上高>

当社は細胞シート再生医療事業にて、三顧股份有限公司 (MetaTech (AP) Inc.) (本社：台湾新北市、代表者 胡立三) との台湾での細胞シート再生医療事業の導出へ向けた協議を開始し、まず第 1 段階として当社が導出検討着手金を受領する契約を締結することを決定し、平成 28 年 12 月期に売上高 50 百万円を計上することといたしました。詳細については本日公表の「台湾への細胞シート再生医療事業導出に向けた協議開始のお知らせ」をご覧ください。

一方で、再生医療支援事業では、当社の主要顧客先である大学・研究機関において、一部研究費削減の動きが見受けられ、今秋以降の当社販売製品を取り巻く市場環境は昨年比に比して厳しい状況が続いております。現状を鑑みると、昨年見込まれていた年末の受注獲得が今期は厳しい見通しとなりました。今後、当社は改めて現在開発中の新規ラインナップ器材製品の早期販売開

始、海外市場販売戦略の見直しなどを推進し、販売の拡大を図って参ります。

上述の結果、全社ベースでの売上高見通しとしては当初計画を据え置き売上高 100 百万円といたします。

<営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益>

当社は現在までに、細胞シート細胞培養施設（CPC）の設立準備を進めて参りました。当該 CPC は、当社細胞シート再生医療事業の事業化推進の為に、細胞シートを安定的かつ迅速に製造することを目的としており、当期初より固定資産として計上することを前提として当該 CPC に係る建設仮勘定として当期第 3 四半期までに 476 百万円を計上して参りました。細胞シート再生医療事業は、現在事業化準備段階にあり、当該事業の事業化のために、今夏より食道再生上皮シートの企業治験を開始しております。一方で、当社はこれまでに細胞シート再生医療事業に係る販売開始には至っておらず、事業化までにはまだ暫く時間を要することになります。上述のような状況を勘案して、当社は当期期中に改めて本件会計上の取り扱いについて関係各所と協議を進めて参りました結果、当期第 3 四半期までに計上いたしました建設仮勘定 476 百万円および当期第 4 四半期に計上予定の取得費用約 80 百万円について特定の研究開発目的の設備取得費用として研究開発費計上することが妥当であるとの判断に至りました。

以上の要因を主因として業績予想を修正することといたしました。

以上